



熊本学園大学大学院
会計専門職研究科
アカウンティング専攻
Graduate School of Accountancy

2025



大学院事務室

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1
TEL.096-371-8036(直) FAX.096-364-5170
<https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>
E-mail:daigakuin@kumagaku.ac.jp

【学校法人 熊本学園】

熊本学園大学・大学院／熊本学園大学付属高等学校／
熊本学園大学付属中学校／熊本学園大学付属敬愛幼稚園



大学基準協会
2022年度に財団法人大学基準協会による大学
評価(認証評価)を申請し、「大学基準に適合して
いる」との認定を受けました。



熊本学園大学大学院会計専門職研究科は、
会計大学院評価機構が定める評価基準に適合
しているとして、2024年3月「認定会計大学院」
の称号を授与されました。

15th

Graduate School
of Accountancy

15th

Graduate School
of Accountancy

九州唯一の会計大学院として、地域とともに歩みながら15年。熊本学園大学大学院会計専門職研究科は、これからも高度な専門教育を通じて、地域社会に貢献して参ります。

公認会計士、税理士を目指すあなたへ。



会計専門職研究科長
成宮 哲也 教授
Tetsuya Narumiya



専門職大学院で学びたい方に、その機会を提供することを可能にしています。

本研究科は、開設から16年目を迎え、既に400名を超える修了生がいます。公認会計士、税理士として活躍している修了生は多数いますが、企業等において活躍している修了生も少なくありません。さらに、研究者となつて、大学で研究している修了生もいます。このように修了後のキャリアは多彩です。在学中にしっかり学び、研究活動を充実させることで、新たな可能性を見出すこともできます。

ところで、本学は、地理的には九州の中心に位置し、岡山県以西で唯一の会計専門職大学院であることから、入学者は九州を中心に多岐にわたります。また、入学者の年齢、性別、学習経験等も千差万別です。このように多様なバックボーンをもった学友との繋がりは、大学院での学修や研究にとって非常に良い刺激になることはもちろん、将来会計プロフェッションとして働くうえでも、大きな財産になることでしょう。

会計専門職大学院に入学することは、具体的な職業やキャリアに的を絞った「人生の選択」を行うことでもあります。熊本学園大学大学院会計専門職研究科では、会計・税務の専門家になる、という決断をされた方々が満足できる教育プログラムを用意し、強力なスタッフ陣をそろえて、入学される皆さんの目標が実現されるよう、最大限の支援を行います。

CONTENTS

研究科長挨拶	02
研究科概要	03
研究科の特色	04
資格試験に短期合格するためのロードマップ	05
働きながら学ぶあなたへ	07
特集1 座談会	09
カリキュラム	11
開設科目一覧	12
特集2 在学生の声	13
教員紹介	15

修学概要	16
入試概要	17
修了後の進路	18
奨学制度	19
支援制度	19
納入金	20
ホームページ	21
キャンパスマップ	21
アクセスマップ	22
交通アクセス	22



九州で唯一の、会計専門職大学院

名 称	会計専門職研究科アカウンティング専攻		
英語名称	Graduate School of Accountancy Major in Professional Accountancy		
課 程	専門職学位課程	学生定員	入学定員30名 収容定員60名
学位名称	会計修士(専門職) Master of Professional Accountancy	修業年限	2年 (長期履修制度あり)

● 教育理念・目的

会計専門職研究科は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職業人の養成を目的とします。

● 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ● 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

ディプロマ・ポリシー(DP)、及びカリキュラム・ポリシー(CP)は、本学大学院ホームページに掲載しています。
※詳細はP21の二次元バーコードを確認!

会計専門職研究科では、高度で専門的な知識・能力を備えた会計・税務に特化した高度専門職業人を養成します。

高度専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、論理的で職業倫理に基づく判断力を備えたうえで、公認会計士や税理士及び企業や非営利組織、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を發揮できる人材の養成を教育の目標とします。

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学会計専門職研究科専門職学位課程においては、入学前に簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、次の会計専門職業人を目指す方を受け入れます。

- 1.公認会計士 2.税理士
- 3.企業・地方自治体などの組織における会計専門家

なお、入学者選抜については、簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記1から3に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

特色 1

公認会計士を目指す

九州における 公認会計士養成の拠点として

公認会計士試験の受験者は都市部に集中する傾向があり、これまで九州地区は受験環境が十分に整っているとは言えない状況にありました。自宅から遠く離れた都市部の大学へ進学し、難関の公認会計士試験に備えるのは、精神的にも経済的にも大きな負担となります。

このような公認会計士試験における地域格差を解消し、公認会計士に対する地域社会のニーズに応えるために開設されたのが、本学会計専門職研究科(アカウンティングスクール)です。岡山県以西に会計専門職大学院が設置されていないなか、地域社会における公認会計士養成の拠点大学として、都市部の会計専門職大学院に負けないカリキュラムと充実したスタッフで、地方にありながら公認会計士試験にチャレンジする方を支援します。

※1 上記の「単位についての要件」を満たして修了した方は、公認会計士試験短答式試験のうち3科目(財務会計論・管理会計論・監査論)が免除されます。
※2 「会計専門職基礎」の単位を修得し修了した方は、実務補習の単位が減免されます。

特色 2

税理士を目指す

地域社会に貢献できる 高度な税理士を養成

高度な専門知識で社会に貢献できる仕事に就きたい人にとって、税理士は最適な職業のひとつと言えるでしょう。税理士試験は難関ですが、科目合格制をとっており、働きながら資格取得を目指す方にとっても勉強がしやすくなっています。

これからの税理士は、税務書類の作成や税務相談といった従来の業務に加え、会計業務やコンサルタント業務に対応できる応用力が求められます。とりわけ地方の税理士には、税務だけでなく経営に関する幅広い相談がクライアントから寄せられます。それらのニーズに十分に対応するためにも、会計・税務に関する体系的な理解とそれを応用する能力が重要となります。

本学会計専門職研究科では、税理士に求められる幅広いニーズに対応できるよう、1年次に会計・税務に関する基本的知識を身につけ、2年次の演習・論文指導で応用力を養成します。

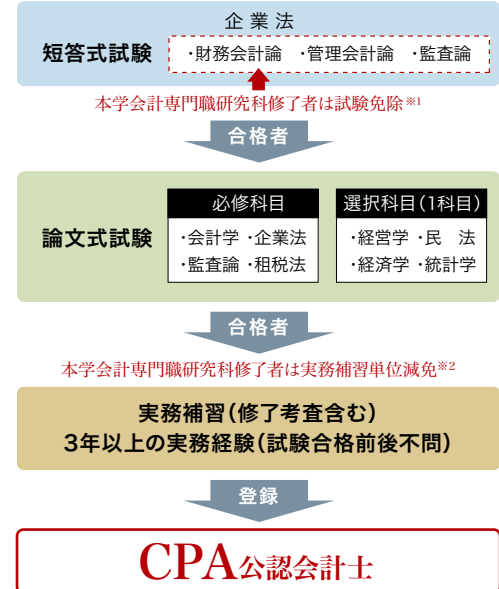
特色 3

会計の スペシャリストを 目指す

高度な会計知識を身につけ 企業や非営利組織で活躍する

会計に関する知識は、複雑化する経済社会において必要不可欠なものです。企業の活動は言うに及ばず、病院や学校など、非営利の組織においても、適正な会計処理は欠かせません。本学会計専門職研究科では、会計・監査・税務等に関する高度な専門知識を身につけ、企業や非営利組織で活躍する人材を育成します。

公認会計士までの道のり



税理士試験のしくみ

税理士試験の科目は、会計科目2科目、税法科目9科目の全11科目があり、そのうち5科目に合格する必要があります。試験科目のうち会計科目の「簿記論」と「財務諸表論」は必修科目なので、必ず受験しなければなりません。税法科目のうち「所得税法」と「法人税法」は選択必修科目です。ほかは選択科目となっているので、得意なものを選択することができます。1度合格した科目は生涯有効です。

税理士試験科目

会計科目	(必修科目)・簿記論・財務諸表論	2科目必修
税法科目	〈選択必修科目〉 ・所得税法・法人税法 〈選択科目〉 ・相続税法・酒税法・消費税法 ・国税徴収法・住民税・事業税 ・固定資産税	どちらか1科目を選択 ※2科目選択でも可

理論と実務を交えた教育体制

本学会計専門職研究科では、研究者教員による「理論」と実務家教員による「最先端の実務」の両方を学ぶことで、高度な専門知識を持った会計専門職業人を育成します。

幅広い学びをサポート

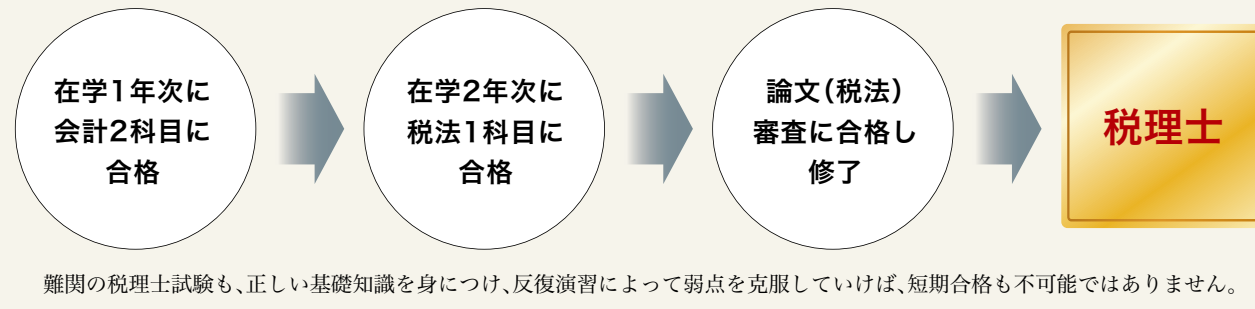
会計・監査・税務に関する科目はもちろん、経済・経営・ITなどの関連科目も開設しています。また、科目等履修生制度も導入しています。

資格試験に短期合格するためのロードマップ

難関の税理士試験や公認会計士試験ですが、正しい戦略のもとで計画的に学修すれば、短期間での合格も決して不可能ではありません。
会計専門職大学院での2年間をうまく活用し、短期間で合格するためのロードマップを紹介します。

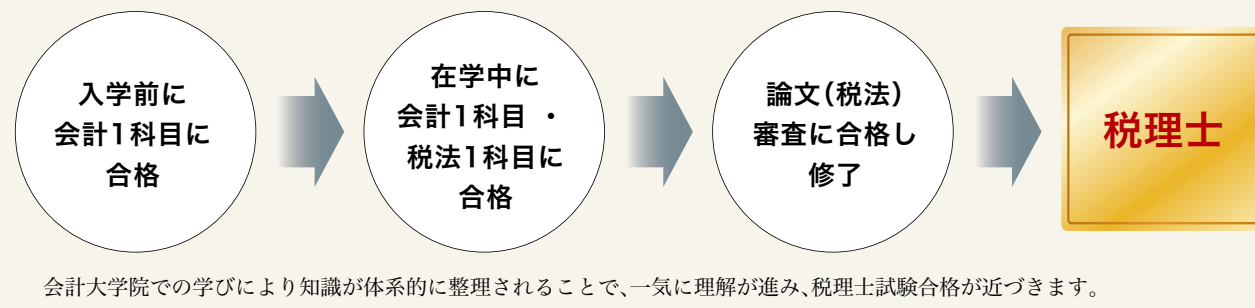
税理士【パターン1】

初学者として短期での税理士試験合格を目指す！



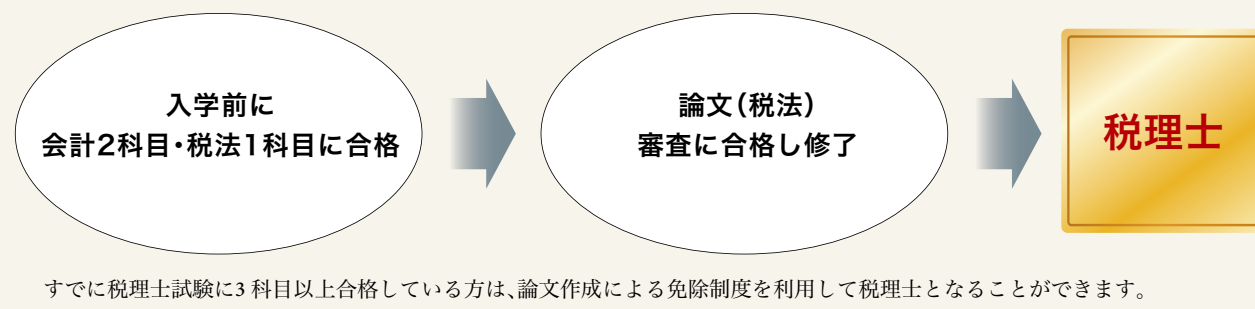
税理士【パターン2】

入学前に科目合格がある方が税理士試験の短期合格を目指す！



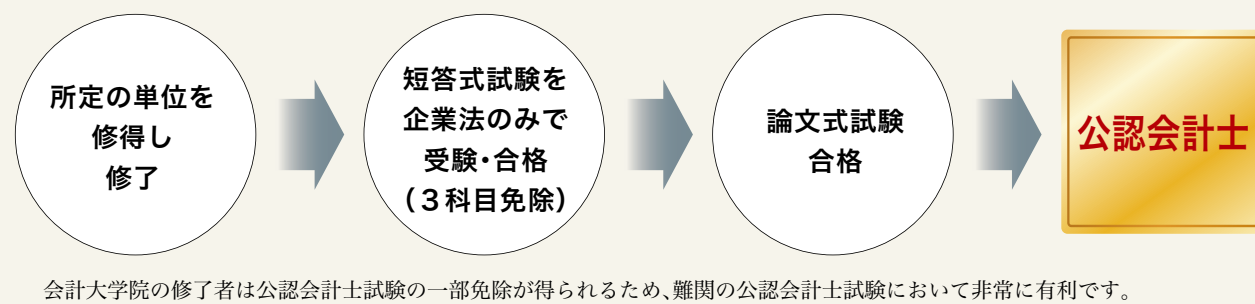
税理士【パターン3】

論文作成による免除制度を利用して税理士になる！



公認会計士

公認会計士試験の一部免除制度を活用して短期合格を目指す！



資格試験の免除制度

会計専門職大学院における資格試験の免除制度を概説！

公認会計士試験の一部免除

会計大学院において所定の要件を満たし、かつ、会計修士(専門職)の学位を取得することで、公認会計士試験の一部(短答式試験における財務会計論、管理会計論、監査論)が免除されます。

■単位についての要件

財務会計に属する科目 10単位以上
管理会計に属する科目 6単位以上
監査に属する科目 6単位以上

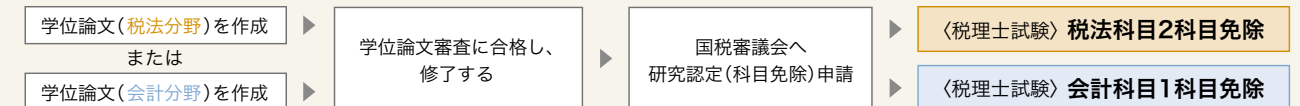
合計28単位以上
を修得する
必要があります。

税理士試験の一部免除

「学位による税理士試験免除制度」と呼ばれているもので、大学院において学位(修士学位等)を授与された研究が「税法に属する科目等」である場合は税法2科目について、「会計学に属する科目等」である場合は会計1科目について、税理士試験の免除を国税審議会(国税審)に申請することができます。国税審の審査に合格し、認定されることで税理士試験の一部が免除となります。

〈学位取得による税理士試験科目免除までの流れ〉

必要な単位を修得し、学位論文審査に合格した学位取得者は、税理士試験の科目免除の申請をすることができます。

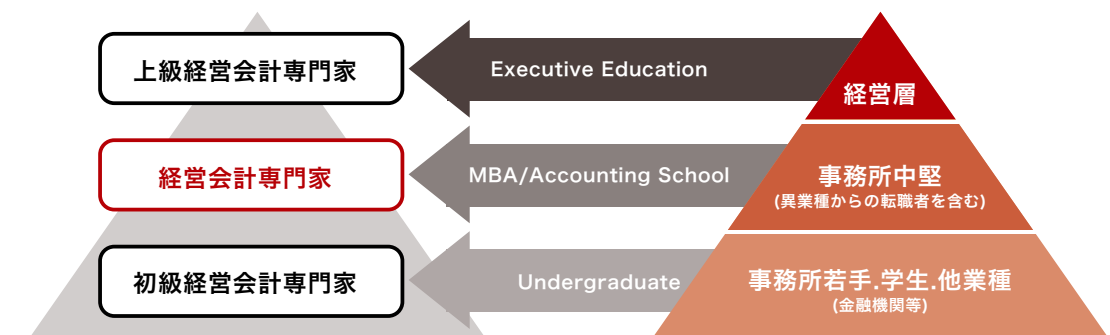


経営会計専門家

資格取得後のキャリアアップとして「経営会計専門家」を紹介！

所定の単位を修得して修了することで、税理士・公認会計士の資格取得および実務経験後、日本経営会計専門家協会が認定する「経営会計専門家」プログラムの受講資格が得られます。

〈「経営会計専門家」養成プログラムについて〉



資格取得要件

本研究科で

■管理会計系科目4単位以上
■ファイナンス系科目2単位以上
■経営学系科目2単位以上
を含む合計20単位以上取得

協会主催の
集合研修

会計士・税理士
等の資格取得

3年以上の
関連業務経験

プログラム修了認定証発行

「経営会計専門家」資格の付与

働きながら学ぶあなたへ

本学会計専門職研究科には、仕事をしながら学んでいる方が大勢います。
ウィークエンドコースや長期履修制度を用意し、働きながら学ぶ方々を積極的に支援します。

ウィークエンドコース weekend

金曜日夜間・土曜日・日曜日を使って2年間で修了！働きながら学べる教育環境

本学会計専門職研究科では、社会人の方が仕事と勉強を両立できる「ウィークエンドコース」を設けています。
金曜日の夜間・土曜日・日曜日という週末を使って授業を実施し、2年間で修了することのできるカリキュラムとなっています。

九州各県から熊本へ

週末3日間の授業だけで
修了することができる
ウィークエンドコースには、
九州各県から通う社会人が
数多く在籍しています。



【ウィークエンドコースの授業イメージ】

時 限	時 間	金	土	日
1時限	9:00～10:30	×	○	○
2時限	10:40～12:10	×	○	○
3時限	13:00～14:30	×	○	○
4時限	14:40～16:10	×	○	○
5時限	16:20～17:50	×	○	○
前時限	18:00～19:30	△	○	×
後時限	19:40～21:10	△	○	×

※金曜日前時限・後時限は論文指導が実施されます。
※補講等で日曜日の夜間に授業が行われる場合もあります。

ウィークエンドコースの特徴

- 原則として平日コースと同じ教員が担当します。
各コースで行われる授業に差はありません。
- ウィークエンドコースで行われる授業は、
必修科目が中心となっています。
すべての科目がウィークエンドコースで行われる訳ではありません
(一部の科目は平日コースでのみ実施しています)。

長期履修制度 long-term course

標準修業年限を1年間延長することでゆとりを持った履修計画が可能に！

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、
標準修業年限内(本学会計専門職研究科の場合、2年間)での履修が困難な場合、修業年限を延長して履修できる制度です。



学費も3年間に分割することで、
経済的負担が軽減されます。

●どんな人が対象？

長期履修を申し出ることができるのは、次の各号の
いずれかに該当する方です。

- (1)職業等を有し、就業している者
- (2)家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- (3)その他当該研究科が相当な事情があると認めた者

●修業年限・学費はどうなるの？

通常、本学会計専門職研究科の標準修業年限は2年
ですが、長期履修の場合、修業年限が3年になりま
す。学費は、2年間の学費を3年間に分割し、延長1年
間分の施設費を加算した金額となります。

●手続きは？

長期履修を希望する方は、事前に大学院事務室までお問い合わせください。
その後、入試出願書類提出時に以下の書類を同封していただきます。

- (1)長期履修申請書(本学所定用紙)
- (2)長期履修が必要であることを証明する書類(在職証明書等)

●その他

- 長期履修生として履修する場合、教育訓練給付制度の申請はできません。
- 日本学生支援機構の奨学金については申し込みが可能です。
- その他、長期履修制度に関する詳細は大学院事務室までお問い合わせくだ
さい。

在学生の声

福岡から毎週末、通学しています。試験合格と実務的な学びの両方を目指せる環境です。

福岡の税理士事務所で働きながら、ウィークエンドコースで学んでいます。実は20代の頃には公認
会計士を目指していましたが、二次試験に通らず挫折した経験があります。今は「税理士になりたい」
という新たな目標を定め、勉強に励んでいます。金曜日の夜から日曜日にかけては熊本にアパートを
借りて滞在しており、会計大学院での学びに集中する環境をつくっています。

当初、税理士試験における科目免除が得られる大学院はどこか、という視点で進学先を検討してい
ましたが、熊本学園大学の会計専門職研究科について調べてみると、資格試験の合格を目標としなが
らも、会計や税法の根底にある理論や考え方を重視した教育が行われていること、実務家教員による
実践的な学びが得られること、週末だけの通学で修了できるウィークエンドコースがあることなど、
多くの魅力を感じ進学を決意しました。仕事と大学院の両立は大変ですが、会計や税務にとどまらず、
管理会計の分野や経営に関する実践的な内容も学ぶことができ、実際にそれらの知識を実務で活用
したこともあります。指導も手厚く、先生方も熱心です。

残された在学期間を有意義に過ごし、中小企業を元気にする税理士を目指して、会計大学院での学
びをさらに充実させていきたいと思っています。



2年生
日高 彰裕さん

休日・夜間も利用できる施設 facilities

◆ 自習室・パソコン室(院生専用)

本学会計専門職研究科では、院生の学修を支援する様々
な施設・設備を用意しています。

自習室は、専用の机・書架・ロッカーが備えられており、集
中して勉強に取り組むことができるよう、個人ごとにス
ペースが区切られています。また、ネットワークや電源も完
備しており、ノートパソコン等を持ち込んだ学修も快適に
行うことができます。

自習室に近接する形で院生専用のパソコン室や図書室を
配置しており、論文作成や資料収集を効率的に行うことが
できます。また、休憩時間や仲間との語らいの場として、院
生専用のラウンジもあり、高度会計専門職業人を養成する
ための充実した学修環境を提供します。



◆ 図書館

地上4階地下2階の図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、学習図書館、研究図書館、保存図書
館としての機能を持ち、開架図書20万冊、965席の閲覧室のある静かな環境の中、毎日多くの学生、
卒業生や一般市民が訪れています。現在、蔵書約93万冊、学術雑誌約8,200タイトル、視聴覚資料約
18,000点などを所蔵し、西日本有数の規模と内容を誇っています。

開学以来、学部や学科、大学院の増設に合わせて専門資料や図書館機能の充実に努めてきまし
た。これまで蓄積されてきた資料や情報の提供はもとより、最新の学術情報を迅速・的確に提供で
きるレファレンス体制も整えています。

より多くの利用者にこれらの資料や機能を活用してもらうために、年間約320日開館しており、
授業期間だけでなく長期休業期間も存分に利用することができます。



【開館時間】

	授業期間		休業期間	
	月～土	日	月～土	日
1階	8:50～22:00	9:00～17:00	8:50～21:00	9:00～17:00
2・3階				—

※授業期間の地階書庫の利用は21:30まで。

【休館日】

- 国民の祝日
- 年末・年始
- 創立記念日(5月30日)
- 入学試験日
- 夏期一斉休業日(8月13日～8月17日)

※その他、臨時の休館・開館時間の変更は、掲示・ホームページでお知らせします。



〈左から〉
1年生 長森 國見さん
1年生 藤村 祐花さん
新改 敬英准教授(管理会計論)
2年生 川井田 奎也さん
2年生(ウィークエンドコース) 日高 彰裕さん
1年生 山下 美月さん
2年生(ウィークエンドコース・長期履修生) 小野 志希さん



新改准教授(以下・新改)／まず、2年生の3人にお聞きしたいんですが、丸1年通ってみて、大学院での日々ってどうですか？

日高さん(以下・日高)／入学前は正直、税理士試験の科目免除のためだけに通うような気持ちだったのですが、想像以上に実務で役立つ内容が多くて、驚きでした。

新改／日高さんは、税理士事務所で働きながら通学しているんですね。

日高／はい。実務経験豊富な先生もいらっしやって、実際にアドバイスいただいたことが、税務調査の現場で生かされたこともありました。

川井田さん(以下・川井田)／私も同じことを感じています。学べる分野も幅広いですよ。大学卒業後すぐ大学院に進学したので実務経験はないのですが、先生方の現場

でのリアルな話はとても役に立ちます。実務に就いたときに備えて、見返せるようにレポートでまとめているところです。

小野さん(以下・小野)／私はウィークエンドコースで、しかも長期履修生なのでお二人とは少しペースが違いますが、それでも勉強量は想像以上に多いという印象です。

日高／しかも、結構スパルタ(笑)。

小野／特にウィークエンドコースは学生の年代も幅広く、皆モチベーションが高いので、私も刺激になります。でも、私のようにほぼ初学の人結構いるのは意外でした。すでに税理士試験に科目合格している人もいるので、その人の勉強の仕方を見て参考にしています。

川井田／社会人の方と一緒にになると、同じ論文のテーマ発表でも構成が論理的だし、論点も明確で、すごいな、と刺激になりますね。

新改／1年生は入学後1ヵ月ほどですね。入学前とのギャップはありますか？

山下さん(以下・山下)／私は本学商学科の会計専門職コースから大学院に進んだのですが、学部授業よりも面白い！というのが第一印象です。特に租税法に興味を持っています。実務の具体例から法律の大切さまでじっくり教えてもらえ、分かりや



すいし、ためになっていますね。

新改／藤村さんは、大学では理学部で学んでいたそうですね。

藤村さん(以下・藤村)／そうなんです。大学では地球科学を学んでいました。大学院受験に際して簿記の勉強は少ししましたが、完全に初学です。でも、入学時の記念講演会で、SDGsやカーボンニュートラルと税金のお話を聞いたことで、今までの学びも会計専門職の仕事につながるんだと、可能性を感じられました。

新改／他の皆さんは税理士志望ですが、長森さんは公認会計士志望ですね。大学院での勉強はどうですか？

長森さん(以下・長森)／まだペースがつかめていないというのが、正直なところです。皆さんがおっしゃっているように、授

業のペースは早く中身も濃いので、決して楽ではないと感じています。

新改／今年から試験は受けるんですね？

長森／はい。12月に行われる短答式試験を目指しています。試験対策の勉強と大学院の授業の両立は、しっかり自己管理をしないと難しそうだと感じています。その分、自分を追い込んで目標に向かって集中して頑張れる環境でもあるかなと思いますね。

新改／この座談会のメンバーには、ほぼ初学の人からすでに1〜2科目合格した上で入学した人もいますが、それぞれ、公認会計士や税理士を目指すに当たって『院に通う意味』ってどのように感じていますか？

日高／科目免除や実務で生かせることまで学べる、というのは先ほども述べたとおりですが、加えて「また、ちゃんと勉強できる」ことの意味も大きいと感じています。というのも、普通は社会に出た後で、「ああ、大学生の時にもっと勉強しておけば良かった」って後悔しがちです。その心残りを、自分は今、きちんと取り戻せているように思います。

川井田／私は今年、資格試験の勉強としては税理士試験の簿記論、財務諸表論の勉強

を、大学院での学修では論文に力を入れて頑張ります。いずれの勉強も、論理的思考をしっかりと育てながら臨めていることに、院で学ぶ意義があると感じています。

小野／論述式の課題が多いのも、ほぼ初学の私にとってはしっかり理解を深める上で有効です。なかなか時間はかかりますが(笑)。あとは、自習室が便利で快適なことも、密かにうれしいポイントです。

新改／1年生の3人は、これからの大学院での2年間でどう計画していますか？

山下／私は学部生時代に税理士試験に2科目合格しているので、大学院の2年間で消費税法と論文に集中することになります。大学院では、なぜそうなるかの理論や判断まで深く学べるので、理解や暗記もしやすいと実感していますね。

藤村／私はひとまず今年は簿記論に受か



りたいというのが目標です。初学なので難しいかもしれませんが、目標に向かってしっかり取り組みたいです。理系出身だからか、数字を扱うのが楽しく、「会計の勉強って面白いな」と思う毎日です。

長森／私は公認会計士を目指すに当たって、まずは時間管理を行って自分なりの学修ペースをつくっていくことが第一だと思っています。そういう意味で、大学院には多くの仲間がいて、困った時には頼ることもできる環境なので、ありがたく思っていますね。

新改／そうですね。税理士試験や公認会計士試験の合格に向けた道は長く険しいですが、やはり自身の「プロジェクトマネジメント」を行うことが大事だと思います。自分の目指したいことに向けて、ここまで行かないと合格できないというレベルを把握し、そこと現状とのギャップを洗い出し、そのギャップを何年で埋めるのか。そのためにどんなツールを使うべきかを検討してほしいです。大学院という環境も、そのツールの1つです。しっかり自分の現状を把握して、合格への道を一步步ずつ進んでほしいですね。



◆ 教育の基本目標

会計専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、かつ知識やスキルを適正に行使し得る論理的で職業倫理に基づく判断力を備えうえて、企業並びに非営利組織、政府、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を発揮できる人材を養成することを教育の基本目標としています。

◆ 体系とプロセスを重視

体系とプロセスを重視した教育を確保するために、財務会計分野、管理会計分野、監査分野、企業法分野、租税法分野、経済・経営分野、統計・IT分野、実践分野に科目を分類し、各分野に基礎科目群、発展科目群、応用・実践科目群を設置しています。基礎科目群では、会計専門職業人に必要不可欠な基礎的知識を修得します。発展科目群では、理論学習を発展させて、より高度な知識を身につけていきます。応用・実践科目群では、最先端の会計理論を修得し、高度な会計専門知識を実務に応用する能力を養成します。

また、経済・経営分野及び統計・IT分野の科目については選択科目として配置し、自己の思考を論理的に説明する能力を育成するためのワークショップ形式の科目を用意しています。

◆ 演習及び論文指導

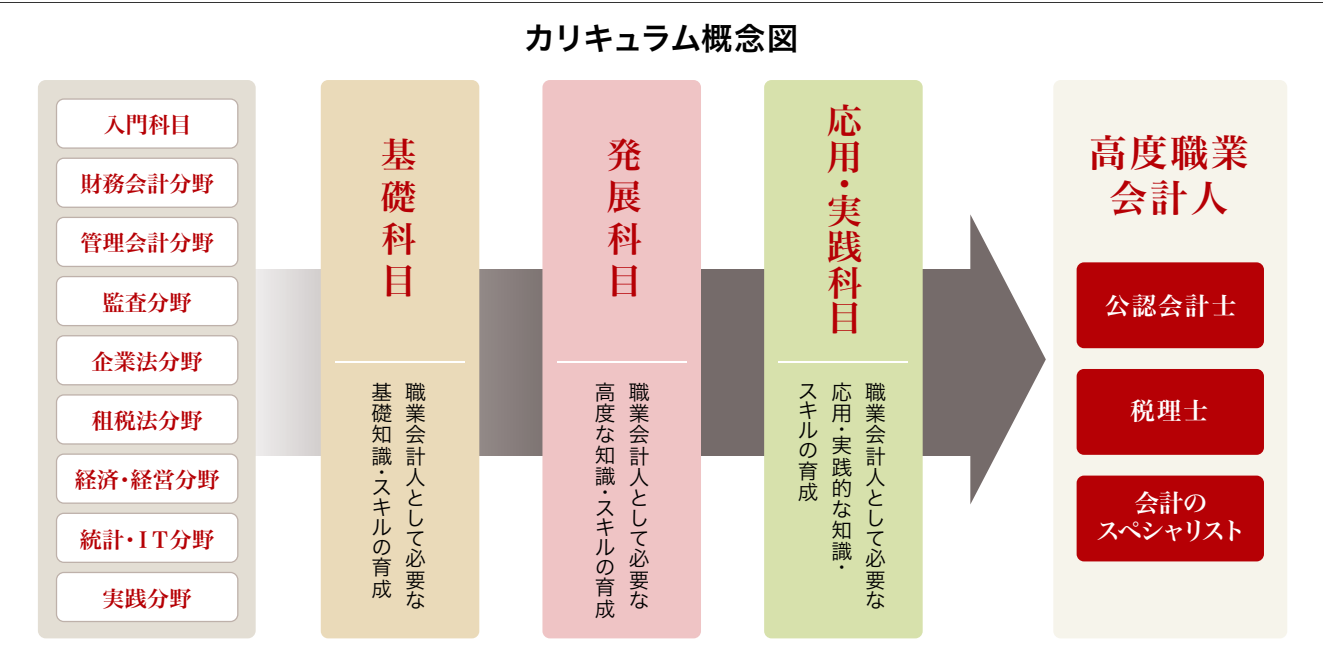
会計専門職業人として、リサーチ能力及び文章作法能力を高め、さらにディベート、プレゼンテーション、コミュニケーションの各スキルを磨くために、少人数制の演習及び論文指導を設けています。

【① 演 習】 会計専門家の教育とともに公認会計士試験対応の教育も含まれます。講義で身につけた知識が定着したかどうかを確認し、それを論理的な文章に書くトレーニングは必須となります。また、課題に対する質問を受けたり、解答例に対する解説を行うことによって、問題点や疑問点を院生自らが解決するための支援を行います。

【②論文指導】 選択によって、2年間の研究成果のひとつとして当該院生が関心を持つ争点(課題)に関する論文の作成を、中間報告を経て論文完成まで個別に指導します。

◆ 修了要件 (2025年度(予定))

- ① 修了に必要な単位数は50単位です。
- ② 修了に必要な単位数は、次の全ての条件を満たすように修得する必要があります。
 - ・入門科目から必修2単位
 - ・財務会計分野から必修4単位、選択必修2単位を含めて10単位以上 ・管理会計分野から必修4単位を含めて6単位以上
 - ・監査分野から必修4単位を含めて6単位以上 ・企業法分野から必修4単位を含めて4単位以上 ・租税法分野から必修2単位を含めて6単位以上
 - ・実践分野から選択必修4単位
- ③ 1年間に履修できる単位の上限は36単位です。
- ④ 「論文指導Ⅰ」「論文指導Ⅱ」を選択し、論文を提出する人は、論文の審査及び最終試験に合格しなければ修了することができません。(「学位取得による税理士試験科目免除」申請には学位論文が必要です。)



【2025年度 開設科目一覧(予定)】

科目区分		授業科目	単位	開設年次	履修区分	修了要件	
入門科目		会計リテラシー	1	1・2年次	必修	必修2単位	
		アカデミック・ライティング	1	1・2年次	必修		
		会計専門職基礎	2	1・2年次	選択		
財務会計分野	基礎科目	基本簿記	2	1・2年次	必修	必修4単位 選択必修科目 2単位を含め 10単位以上	
		上級簿記	2	1・2年次	選択		
		基本財務会計	2	1・2年次	必修		
		上級財務会計	2	1・2年次	選択		
	発展科目	国際財務報告基準	2	1・2年次	選択必修		
		国際会計	2	1・2年次	選択必修		
		会計制度	2	1・2年次	選択		
		非営利法人会計	2	1・2年次	選択		
		公会計	2	1・2年次	選択		
		中小会社会計	2	1・2年次	選択		
		会計基準	2	1・2年次	選択		
	連結会計	2	1・2年次	選択			
応用・実践科目	非営利・公会計実務指導	2	2年次	選択			
管理会計分野	基礎科目	基本原価計算	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上	
		上級原価計算	2	1・2年次	選択		
		基本管理会計	2	1・2年次	必修		
		上級管理会計	2	1・2年次	選択		
	発展科目	意思決定会計	2	1・2年次	選択		
		財務分析	2	1・2年次	選択		
監査分野	基礎科目	会計監査	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上	
		監査基準	2	1・2年次	選択		
		会計職業倫理	2	1・2年次	必修		
	発展科目	監査制度	2	1・2年次	選択		
		監査実務	2	1・2年次	選択		
		公監査	2	1・2年次	選択		
企業法分野	基礎科目	企業法基礎	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 4単位以上	
		企業法応用	2	1・2年次	必修		
	発展科目	民法(入門)	2	1・2年次	選択		
		民法(発展)	2	1・2年次	選択		
	応用・実践科目	コーポレート・ガバナンス	2	2年次	選択		
租税法分野	基礎科目	租税法原理	2	1・2年次	必修	必修2単位を含め 6単位以上	
		法人税法Ⅰ	2	1・2年次	選択		
	発展科目	法人税法Ⅱ	2	1・2年次	選択		
		所得税法Ⅰ	2	1・2年次	選択		
		所得税法Ⅱ	2	1・2年次	選択		
		消費税法	2	1・2年次	選択		
		相続税法	2	1・2年次	選択		
		租税手続法・争訟法	2	1・2年次	選択		
	応用・実践科目	租税法事例研究	2	1・2年次	選択		
経済・経営分野	基礎科目	国際税務	2	2年次	選択		
		ミクロ経済学	2	1・2年次	選択		
	発展科目	マクロ経済学	2	1・2年次	選択		
		経営管理	2	1・2年次	選択		
		コーポレート・ファイナンス	2	1・2年次	選択		
応用・実践科目	ビジネスコミュニケーション	2	1・2年次	選択			
統計・IT分野	応用・実践科目	経営コンサルティング	2	2年次	選択		
		ビジネス統計	2	1・2年次	選択		
		ICTと会計・税務	2	1・2年次	選択		
実践分野	実践科目	情報セキュリティ	2	2年次	選択	選択必修4単位	
		財務会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		財務会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		管理会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		管理会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		監査演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		監査演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		租税法演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
租税法演習Ⅱ	2	2年次	選択必修				
論文指導	応用・実践科目	論文指導Ⅰ	2	2年次	選択		
		論文指導Ⅱ	4	2年次	選択		



VOICE [在学生の声]

会計専門職業人という同じ目標に向かって
切磋琢磨している在学生たち。
会計専門職研究科での学びはどのようなものか、
在学生の声を聞いてみましょう。



1 会計や税務に限らない幅広い学びで 税理士としての心構えも備えられる環境

2年生 川井田 奎也さん

会計に関わるスキルを身に付けたくて、本学の商学部に入學。1年次に日商簿記検定2級に合格したことをきっかけに、税理士を目指し始めました。本学の会計専門職研究科ならば切磋琢磨しながら高めあえるコミュニティができると感じ、監査論や企業法、経営学まで学べることも魅力に感じて、大学院への進学を決めました。仲間達は皆、意識もレベルも高く、私も鼓舞されながら学ぶ日々です。実務家教員の先生方も多いので、将来、税理士として働くことまでイメージした学びができている点もありがたいです。会計専門職として働く以上、常に何かを学ぶという姿勢は崩してはいけないことを実感させてもらえる環境です。将来、勤務税理士、独立開業と働き方の選択肢が多い税理士ですが、謙虚に学び続けたいという心構えも育てることができました。

2 3年間の長期履修で仕事と通学を両立 大学院に通うのが楽しい毎日です

2年生(ウィークエンドコース・長期履修生) 小野 志希さん

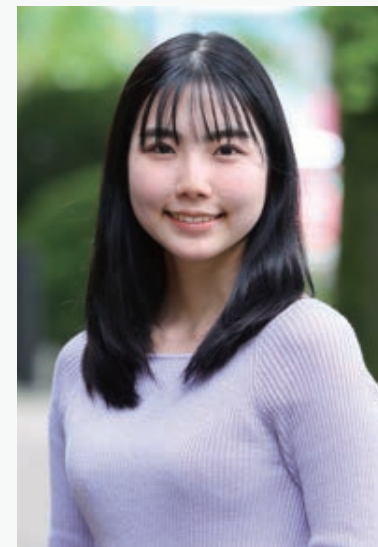
祖父が税理士事務所を営んでおり、高校までは税理士を目指していました。一方で保育にも興味があり、大学は本学の社会福祉学部に進学して、卒業後は一般企業へ就職。しかし税理士への思いが捨てられず、慣れ親しんだキャンパスで学べて、学位取得による税理士試験の一部免除によってスムーズに合格を目指したいと思い、大学院への進学を決めました。平日は税理士法人で働きながらの通学になるため、無理をしないために長期履修コースを選択。ほぼ初学でしたが、経験豊富な先生方や同級生、先輩のおかげでしっかり学びを重ねられています。税理士法人で働く上で役に立つ授業が多く、情報交換や仕事の相談なども気軽にできるので、大学院に通うのがとても楽しいです。在学中に税理士試験の簿記論・財務諸表論に合格し、卒業後なるべく早く税理士に合格したいというのが、今の目標です。



5 初学からの税理士合格を目指し、 大学院で一つずつ理解を深めています

1年生 藤村 祐花さん

大学時代は理学部で学んでいたのですが、「何か資格を取って生涯働きたい」という思いを持つようになりました。理系分野から税理士となって事務所を開いた方から仕事の魅力を聞き、自分も目指したいと決意。論文指導に手厚そうな点、そして入試が簿記での試験だった点に魅力を感じ、本大学院への入学を志しました。会計分野はほぼ初学ですが、初学者向けの授業が用意されているほか、授業もただの試験向け暗記ではなく、1つ1つ深掘りしていく内容です。理解を深めやすく、専門性も身につけやすいと感じています。何より、先生方が「税理士のあるべき姿」を見せてくれていると思います。他の士業の方々と連携したワンストップサービスを提供できるように税理士になるために、まずは税理士試験合格を目指します。



4 実務家教員の先生方による 実践的な講義が面白く、ためになります

1年生 山下 美月さん

子どもの頃からそろばんが得意で、「数字を扱う仕事」である会計専門職に興味を持っていました。本学の経済学部に進学し、税理士になるという目標を定めた際、税理士試験には学位取得によって試験科目の一部が免除される制度があること、本学の会計大学院(会計専門職研究科)で要件を満たせば、その制度が適用されることを知り、学部を卒業した後すぐに大学院へと進学しました。まだ授業は始まったばかりですが、1つ1つの授業の「濃さ」「深さ」を実感しています。実務家教員の先生方が、実務を交えた授業をしてくださるので、暗記事項も「こういうことだったのか!」と、周辺知識や意味を理解した上で覚えられるので、しっかりと頭に入っていきます。すでに税理士試験の会計2科目に合格しているので、大学院在学中は税法の学修に集中し、できるだけ短期間で税理士試験を突破したいと思っています。大学院ならではの実践的な学びもしっかりと身につけて、地元・熊本で中小企業を支える税理士になれるよう、頑張ります。



1年生 長森 國晃さん

熊本県外の大学に進学し、商学部で学んでいた頃から公認会計士に興味を持っていました。一度は就職したものの諦められず、一旦仕事を辞めて公認会計士に向けた勉強に集中することに。公認会計士試験の短答式試験3科目が免除になること、監査法人への研修制度などの学修環境の充実度に惹かれて、本大学院へ入学しました。大学院の授業は小論文やレポートなどもあって決して楽ではなく、きちんと時間管理や計画設計を行わないと、公認会計士試験の勉強と大学院での学修を両立させることは困難です。一方で、何でも聞ける先生方や友人達とのつながりはかけがえのないものだと思感。勉強のことや将来のこと、それ以外の悩み事まで何でも話せる大学院ならではの環境は、ただ試験合格だけを目指すのではなく、私の人生を豊かにしてくれる大きな魅力だと感じています。退路を断って臨んだこの道、一生懸命、頑張ります。



成宮 哲也 教授(研究科長)
Tetsuya Narumiya

租税法分野

西南学院大学大学院経営学研究科修士(経営学)



飯村 光敏 准教授
Mitsutoshi Iimura

管理会計分野・実践分野

横浜市立大学商学部 学士(会計学)
公認会計士・税理士



大園 隆志 准教授
Takashi Ozono

財務会計分野・監査分野・実践分野

熊本大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了
公認会計士



大塚 成男 教授
Shigeo Ohtsuka

財務会計分野

一橋大学大学院商学研究科修士後期課程単位取得退学
修士(商学)、政府会計学会副会長
日本会計研究学会理事、日本IR学会理事
財務省・財政制度等審議会 臨時委員
(公財)全国市町村研修財団 評議員
証券アナリスト試験委員、元公認会計士試験委員



岡村 忠生 教授
Tadao Okamura

租税法分野

京都大学大学院法学研究科修士後期課程指導認定退学
京都大学名誉教授



改田 和歌子 准教授
Wakako Kaida

租税法分野・実践分野

熊本学園大学大学院会計専門職研究科修了
会計修士(専門職)、税理士



佐藤 信彦 教授
Nobuhiko Sato

財務会計分野・監査分野

明治大学大学院商学研究科修士後期課程単位取得退学
修士(商学)、日本簿記学会顧問・前会長
日本会計教育学会副会長、税務会計研究学会副会長
日本学術会議連携会員、経営関連学会協議会副理事長
元公認会計士試験委員、元税理士試験委員



新改 敬英 准教授
Takahide Shinkai

管理会計分野

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)
九州大学大学院経済学府博士後期課程
単位取得退学、博士(経済学)
株式会社ビューティ花壇取締役(非常勤)
肥銀キャピタル株式会社第2号ベンチャーファンド投資諮問委員
米国ワンントン州公認会計士



宮崎 裕士 教授
Yuji Miyazaki

租税法分野

熊本学園大学大学院商学研究科修士後期課程修了
博士(商学)



山本 健人 准教授
Kento Yamamoto

監査分野

神戸大学大学院経営学研究科修士課程後期課程修了
博士(経営学)



吉野 任 准教授
Makoto Yoshino

財務会計分野・監査分野・実践分野

同志社大学経済学部 学士(経済学)
公認会計士・税理士



林 幸一 特任教授
Koichi Hayashi

租税法分野

大阪府立大学大学院経済学研究科修士課程修了
博士(経済学・大阪府立大学)



山崎 広道 特任教授
Kodo Yamazaki

租税法分野

大東文化大学大学院法学研究科修士後期課程修了
博士(法学・大東文化大学)
日本税法学会常務理事

アドバイザー・ボード

2019年度より、産業界等との連携により、教育課程を編成し、円滑かつ効果的に実施するため、アドバイザー・ボードを
設けました。会計実務または教育に造詣が深い学外有識者との連携で、カリキュラムの充実を目指します。

窪田 真 有限責任監査法人トーマツ 熊本連絡事務所長

東 秀優 南九州税理士会会長

倉崎 好太郎 RITAグループホールディングス株式会社
代表取締役社長

山浦 久司 明治大学名誉教授 元会計検査院長

千代田 邦夫 元公認会計士・監査審査会会長
元本学会計専門職研究科教授

(五十音順)

〈本学のアドバイザー・ボード委員は以下のとおり〉
成宮哲也(研究科長)、大塚成男

◆ ゲスト 講義・講演会

ゲスト講義や講演会では、毎年著名な先生方を多数お招きしております。
在学中だけではなく、一部の講演会には修了生も参加することができます。

朝長 英樹 氏 日本税制研究所代表理事

関根 愛子 氏 早稲田大学商学学術院教授
元日本公認会計士協会会長

大淵 博義 氏 中央大学名誉教授

高田 知実 氏 神戸大学大学院経営学研究科教授

加賀谷 哲之 氏 一橋大学大学院経営管理研究科教授

高橋 祐介 氏 名古屋大学大学院法学研究科教授

酒井 克彦 氏 中央大学法務研究科教授

徳賀 芳弘 氏 京都大学名誉教授、企業会計審議会会長
前日本会計研究学会会長

品川 芳宣 氏 筑波大学名誉教授
税理士法人大手町トラスト代表社員、弁護士、税理士

中野 誠 氏 一橋大学大学院経営管理研究科教授

島永 和幸 氏 神戸学院大学経営学部教授

八ッ尾 順一 氏 大阪学院大学法学部教授
税理士・公認会計士

(五十音順)

修学概要 study

◆ 授業時間

授業については、月曜日から金曜日までの平日コースと金曜日夜間・土曜
日・日曜日を中心としたウィークエンドコース、長期休暇を利用する集中講
義等の授業があります。授業時間帯は右記の表のとおりです。各自の履修
スタイルにあわせて時間割を編成することができます。

1時限	9:00～10:30	5時限	16:20～17:50
2時限	10:40～12:10	6時限	18:00～19:30
3時限	13:00～14:30	7時限	19:40～21:10
4時限	14:40～16:10		

◆ 年間スケジュール(予定)

4月

- 入学式
- 新入生歓迎講演会
- 春学期授業開始

7月

- 7月入試
- 夏期休業
- 集中講義
- 学位論文提出(9月修了)
- 学位論文審査(9月修了)

10月

- 入試説明会

1月

- 秋学期定期試験
- 学位論文提出(3月修了)
- 1月入試
- 春期休業
- 学位論文審査(3月修了)

5月

- 論文テーマ発表会(税法分野)
- 創立記念日

8月

- 税理士試験
- 公認会計士試験(論文式)
- 定期試験

11月

- 論文予備審査会
- 11月入試

2月

- 2月入試

6月

- 入試説明会

9月

- 中間発表会(税法分野)
- 学位記授与式(9月期)
- 秋学期授業開始

12月

- 論文指導ガイダンス
- 入試説明会
- 冬期休業

3月

- 学位記授与式(3月修了)
- 新入生・在学生登校日

兼任教員

井上 弘樹
兼任教授

甲斐 好文
兼任准教授

熊谷 啓希
兼任准教授

日野 修造
兼任教授

非常勤講師

天川 竜治
宇城市副市長

小蘭 和剛
熊本県立大学
総合管理学部准教授

杉本 徳栄
関西学院大学
経営戦略研究科教授

林 隆敏
関西学院大学
商学部教授

落合 幸隆
公認会計士

笹山 茂
本学名誉教授

角田 幸太郎
佐賀大学
経済学部教授

米本 昌弘
有限責任監査法人
トーマツパートナー

城戸 善和
元本学教授

佐藤 敏郎
公認会計士
日本公認会計士協会常務理事

飛田 努
福岡大学
商学部准教授

倉田 幸路
立教大学名誉教授

澤田 成章
鹿児島大学
法文学部准教授

橋本 研
博士(商学・熊本学園大学)
税理士法人近代経営、税理士

(五十音順)

[2025年度概要]

	7月入試 (一般・社会人・推薦)	11月入試 (一般・社会人・推薦・飛び級)	1月入試(2025年) (一般・社会人・推薦・飛び級)	2月入試(2025年) (一般・社会人・推薦)
出願期間	6月18日(火)～6月25日(火)	10月22日(火)～10月29日(火)	1月7日(火)～1月14日(火)	2月4日(火)～2月12日(水)
試験日	7月7日(日)	11月10日(日)	1月26日(日)	2月23日(日)
合格発表	7月12日(金)	11月15日(金)	1月31日(金)	2月28日(金)
入学手続	[第1回] 7月26日(金) [第2回] 2025年 2月14日(金)	[第1回] 11月29日(金) [第2回] 2025年 2月14日(金)	2月14日(金)	3月7日(金)
試験会場	本学	本学・福岡*	本学・福岡*	本学

※福岡試験会場：福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)

入試種別	募集人員	7月 入試	11月 入試	1月 入試	2月 入試	試験科目			
						書類審査	専門科目 ※1・※2	小論文 ※3	面接
一般	15名程度	◎	◎	◎	◎	●	●	—	●
社会人	15名程度	◎	◎	◎	◎	●	—	●	●
推薦	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	●	●
推薦 (本学商学部会計専門職コース対象)	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	—	●
企業等推薦	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	—	●
飛び級	若干名	—	◎	◎	—	●	●	—	●
飛び級特別推薦 (本学商学部会計専門職コース対象)	若干名	—	◎	◎	—	●	—	—	●

- ※1 専門科目：簿記、会计学、税務会計の3分野からそれぞれ出題。出願時に1分野を選択します。7月募集は、簿記のみ。
- ※2 次のいずれかに該当する者は、申請により専門科目を免除することがあります。
- ① 公認会計士試験短答式試験合格者

② 日本商工会議所簿記検定試験1級合格者

③ 全国経理教育協会簿記能力検定試験上級合格者

④ 税理士試験1科目以上合格者

⑤ 米国公認会計士資格試験合格者
- ※3 小論文は、経済・経営に関する基礎的な素養を問います。

◆ 個別の出願資格審査

本研究科において、個別の出願資格審査をおこない、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもので、入学時に24歳に達する方は、社会人入学試験の出願資格を得ることができます。希望される方は、大学院事務室へ電話でご連絡ください。

入試説明会

6月15日(土) 13:00～ 熊本会場(熊本学園大学)
10月19日(土) 13:00～ 熊本会場(熊本学園大学)
10月20日(日) 13:00～ 福岡会場(福岡ガーデンパレス)
12月 7 日(土) 13:00～ 福岡会場(福岡ガーデンパレス)
12月 8 日(日) 10:00～ 熊本会場(熊本学園大学)
12月 8 日(日) 13:00～ 熊本会場(熊本学園大学)

※12月8日(日)は10:00 からと13:00 からの2回、開催します。
※詳細はホームページにてご確認ください。

個別相談

随時
11:00～21:00
※日祝を除く

[2024年度結果]

◆ 入試状況〈入学定員 30名〉

入試種別	志願者数				受験者数				合格者数				入学手続者数				入学者数
	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	
一般	0	11	7	7	0	11	7	7	0	10	5	7	0	9	5	6	19
社会人	0	1	2	4	0	1	2	4	0	1	2	4	0	1	2	4	7
推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
推薦 (会計専門職コース)	0	3	0	1	0	3	0	1	0	3	0	1	0	3	0	1	4
企業等推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飛び級		0	1			0	1			0	1			0	1		1
飛び級特別推薦 (会計専門職コース)		0	0			0	0			0	0			0	0		0
計	0	15	10	12	0	15	10	12	0	14	8	12	0	13	8	11	31
全入試計	37				37				34				32				



修了後の進路course

[2023年度]

修了予定者数	修了者数	修了者のうち	
35	31	税法に関する論文を作成し 審査に合格した者	会計に関する論文を作成し 審査に合格した者
		27	0

修了者のうち			
就職(現職継続を含む)	進学	資格試験の勉強を継続	その他
20	1	8	2

税理士試験合格者数※1	公認会計士試験(短答式試験)合格者数	公認会計士試験(論文式)合格者数
7	0	0

※1 学位取得による税理士試験科目免除を含め、税理士登録に必要となる試験5科目に合格した者の数

◆ 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金は非常に多くの学生が利用しており、最もポピュラーな奨学金です。経済的理由により修学に困難がある優れた学生を対象に奨学金を貸与するもので、返還の義務があります。申請時には学力や所得に関する審査があります。

対 象	種 別	金 額	資 格・条 件	募集期間等
修士・専門職学位課程	貸 与	第一種(無利子) 月額 5万円又は8.8万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円	研究を継続するのに 奨学金の貸与が 必要な者	4月
		第一種(無利子) 月額 8万円又は12.2万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		
博士後期課程	貸 与	第一種(無利子) 月額 8万円又は12.2万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		

※金額は2024 年度のものです。

大学院において第一種奨学金の貸与を受けた院生で、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度(特に優れた業績による返還免除制度)があります。

◆ 会計専門職研究科 特別奨学金

本学大学院会計専門職研究科に在学する院生の学修及び研究活動を奨励することを目的とした奨学金制度です。

対 象	種 別	金 額	人 数	資 格・条 件
本研究科 在学生	給 付	30万円	若干名	学業、人物ともに優秀であると認められた者

※2023年度は、各学年5名、計10名に交付しました。



◆ その他の奨学制度

上記以外にも、本学独自の奨学制度や、都道府県が実施しているもの、財団法人等が実施しているものなど、多くの奨学制度があります。また、学術団体等が実施する支援や懸賞論文もあります。これらの情報は、在学生に対して適宜提供しています。

◆ 教育訓練給付制度

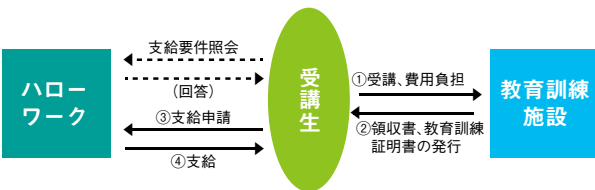
「教育訓練給付制度」は、働く方の能力開発、キャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し、一定の要件を満たした方に対して、受講費用の一部を給付する制度です。本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金(上限10万円)を受給できます。

支給額

受講者本人が支払った受講費用の20%(上限10万円)

支給要件

- 初めて利用する方
雇用保険加入期間が通算1年以上
- 以前利用したことがある方
前回利用開始日から雇用保険加入期間が通算3年以上



※長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません。

◆ 納入金

[専門職学位課程]

(単位:円)

学年・期別	種 別	一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		595,000	55,000	650,000		650,000	
	2期		595,000	55,000	650,000	20,000	670,000	9月28日
	合計	100,000	1,190,000	110,000	1,400,000	20,000	1,420,000	

※2025年度新入生予定

[専門職学位課程長期履修生]

(単位:円)

学年・期別	種 別	一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		398,000	55,000	453,000		453,000	
	2期		398,000	55,000	453,000	20,000	473,000	9月28日
	合計	100,000	796,000	110,000	1,006,000	20,000	1,026,000	

※2025年度新入生予定

※ 2025年度入学者の納入金額は変更となる場合があります。

※ 入学金及び同窓会費については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除します。

※ 納入期限日が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とします。



本学大学院ホームページでは、会計専門職研究科に関する多くの情報を掲載しています。
より詳しい内容について知りたい方は、ぜひ以下二次元バーコードからアクセスしてみてください。

熊本学園大学大学院ホームページ
KGU Graduate School



会計専門職研究科ランディングページ
Landing Page



会計専門職研究科3つのポリシー
Diploma/Curriculum/Admission Policy



学生生活サポート・福利厚生
Support and Welfare



熊本学園大学 研究者総覧
Find Researchers



会計専門職研究科シラバス
Syllabus



キャンパスマップ campus map

- | | | | |
|------------------|------------|------------|------------------|
| ① 正門・銀杏並木 | ⑧ 本館 | ⑮ 8号館(部室棟) | ⑳ ピアノ練習棟 |
| ② 産業資料館 | ⑨ 総合体育館 | ⑯ 第二体育館 | ㉑ テニスコート |
| ③ 14号館(60周年記念会館) | ⑩ 研究棟 | ⑰ 図書館 | ㉒ 大江第一寮・第二寮(女子寮) |
| ④ 付属敬愛幼稚園 | ⑪ 人工芝グラウンド | ⑱ 大江グラウンド | ㉓ 保田窪寮(男子寮) |
| ⑤ 多目的グラウンド | ⑫ 4号館 | ⑲ 12号館 | ㉔ 国際交流会館 |
| ⑥ 付属高等学校 | ⑬ 7号館 | ⑳ 11号館 | |
| ⑦ 附属中学校 | ⑭ 学生会館 | ㉑ 新1号館 みらい | |



アクセスマップ access map



交通アクセス traffic access

▶ 熊本桜町バスターミナルより

- 【車利用】約15分
 【熊本都市バス利用】**18**のりば 約20分
 ◎子飼渡瀬線(こかいわたるぜせん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 ◎大江城西線(おおえじょうせいせん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 ◎渡鹿長嶺線(とろくながみねせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎東西線(とうざいせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 【産交バス利用】**18**のりば 約20分
 ◎熊本整形外科・託麻原本通經由 …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎子飼橋・託麻原本通經由 …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

▶ 九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

- 【車利用】約15分
 【熊本都市バス利用】**18**のりば 白川口(東口) 約20分
 ◎熊学ライナー熊本駅ー熊学ノンストップ …バス停「学園大(キャンパス内)」下車
 ◎第一環状線(大学病院回り) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎中央環状線(大学病院回り) …バス停「学園大前」下車すぐ

▶ JR豊肥本線 水前寺駅より

- 【徒歩】北口より約10分
 【熊本都市バス利用】北口より約3分
 ◎大江城西線 …バス停「学園大前」下車すぐ

▶ 熊本市電 電停「味噌天神前」より

- 【徒歩】約15分

▶ 九州自動車道 熊本インターより

- 【車利用】約15分

▶ 熊本空港より

- 【車利用】約30分
 【空港バス利用】約30分
 ◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

熊本駅直通のシャトルバス「熊学ライナー」

JR熊本駅～本学間をノンストップで結ぶシャトルバスを運行しています。(運賃片道100円)

- ▶ JR熊本駅発 …… ①8:20 ②9:15 ③10:05 ④12:25 ⑤14:05
 ▶ 熊本学園大学発 …… ①13:00 ②14:45 ③16:25 ④17:20 ⑤18:20
 (土・日・祝は運休) ※最新の運行状況は大学ホームページをご覧ください。

※大学発は水道町
バス停(降車のみ)
を経由します



令和6年度(2024年度)の情報です。